

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-107341

(P2000-107341A)

(43) 公開日 平成12年4月18日 (2000.4.18)

(51) IntCl.⁷

識別記号

F I

テマコード (参考)

A 6 3 B 71/14

A 6 3 B 71/14

A

57/00

57/00

H

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号

特願平10-316809

(22) 出願日

平成10年10月2日 (1998.10.2)

(71) 出願人 598009016

林間 明人

山口県吉敷郡小郡町大字下郷747番16号

(72) 発明者 林間 明人

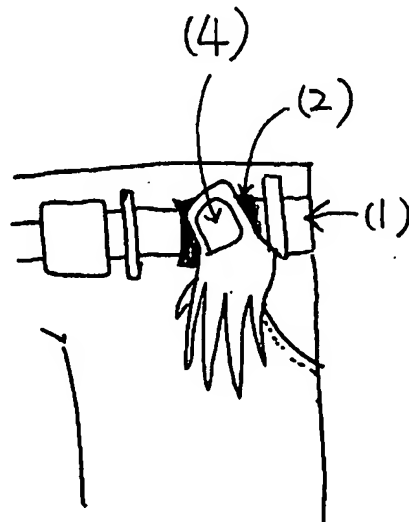
山口県吉敷郡小郡町大字下郷747番16号

(54) 【発明の名称】 ゴルフグローブ用ワンタッチホルダー

(57) 【要約】

<課題> ゴルフプレイ時に、はずしたゴルフグローブを簡単に取り付け、取り外しの出来るホルダー

<解決手段> ベルト (1) に通したホルダー (2) のマジックテープ (3) とゴルフグローブ (4) のマジックテープ (5) をはりあわせる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ゴルフプレイ時にプレイヤーが随時取り外したゴルフグローブをウエスト部分（ベルト）に、一時的に保持することが出来、再度使用時にも簡単に取り外し着用することの出来るマジックテープを使用した簡易式のゴルフグローブ用ホルダー

【発明の詳細な説明】

＜発明の属する技術分野＞本発明はゴルフプレイヤーがゴルフグローブを身体に一時的に取り付けるための付属品に関する。

＜従来の技術＞従来はゴルフプレイヤーがプレイ中一時的にはずしたグローブは、次に使用するまで手に持ったままや、ポケットの中に一時入れて、又次の使用時にはポケットから取り出して再度装着することが大半であった。

＜発明が解決しようとする課題＞これまでの、ゴルフグローブをポケットに入れる方法では取り出し時に、ポケットの中に他に入っている用品、例えばティやグリーンマークと一緒に出てきて落としてしまったり、汗で湿ったグローブや、雨天時、雨水で濡れたグローブを入れなくてはいけなかった。よって本発明は、外したグローブをポケットに入れ、次使用時に取り出すという手順より、より簡単、快適、便利に保持することを目的とするものである。

＜課題を解決するための手段＞本発明は、ゴルフプレイヤーがプレイの途中に外したグローブを、簡単に脱着出来る仕組を用いて、一時的に保持するものである。つまり、マジックテープを外側の半円ほどの部分に取り付けたループ状のホルダーをベルトに通し、その後そのベルトを着用する。ウエスト部分（ベルト）に取り付けられたマジックテープにゴルフグローブについているマジックテープを利用して、張りつける仕組となっている。

＜実施例＞以下、本発明のゴルフグローブ用ワンタッチ

ホルダーの使用を、図面に示す実施例について説明する。ベルト（1）にワンタッチホルダー（2）を通した後、そのベルトをスラックスのループを通し着用する。ワンタッチホルダー（2）を、各自使い易い位置に留め、ホルダーにつけたマジックテープ（3）を外側にしておく。ワンタッチホルダー（2）のマジックテープ（3）にゴルフグローブ（4）のマジックテープ（5）をはりあわせくっつける。再度使用時は、ゴルフグローブ（4）をはがして着用する。

10 ＜発明の効果＞本発明は、ゴルフグローブのマジックテープを利用して、ウエスト部分にグローブを一時的にはりつけるというものである。よって、従来の、グローブをはずしポケットに入れていた手間を省き、ホルダーのマジックテープにグローブをはりつけるという手順のみで、グローブを保持し、再度使用に関してもはがし取るだけで着用出来るという仕組によってゴルフプレイ時における利便さを促すものである。又、動作の簡略化に加えて、グローブのポケットへの出入れの際に他の品（ティやグリーンマーク等）がポケットから落ちるといったミスも防ぐ効果がある。加えて、汗をすったグローブをはずした時に、短時間でも空気にさらし、風に当てることが出来るという利点も有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 斜面図

【図2】 側面図

【図3】 ゴルフグローブ

【図4】 ワンタッチホルダー装着後の斜面図

【図5】 実施例の斜面図

(1)・・・ベルト (2)・・・ワンタッチホルダー

30 (3)・・・ホルダーのマジックテープ

(4)・・・ゴルフグローブ

(5)・・・ゴルフグローブのマジックテープ

